

学習評価の方法

学習評価の方法

○ 学習評価の基本的な考え方

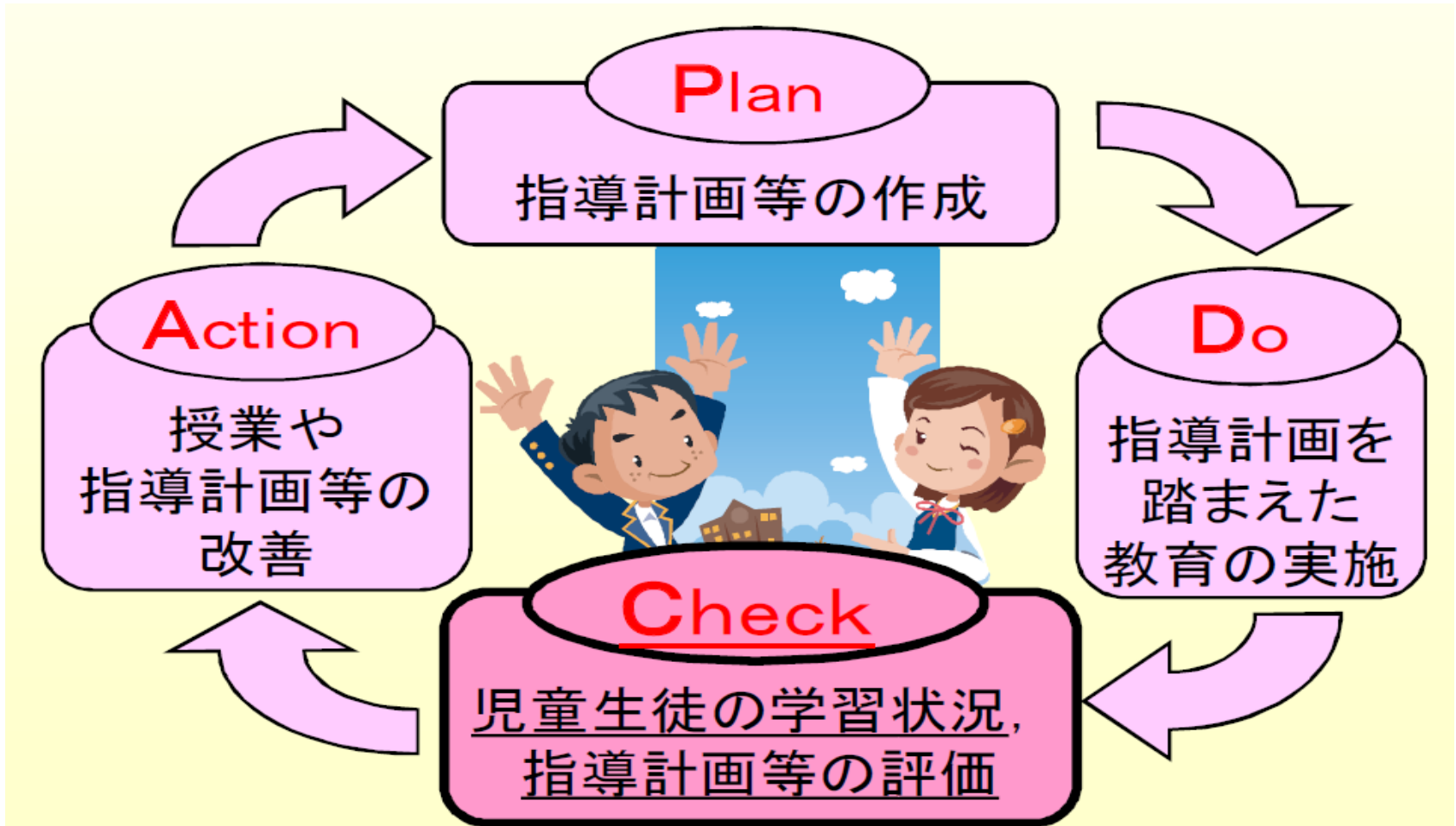
【学習評価の意義・目的】

- ・ 教師にとっては、学習指導の在り方の見直しや個に応じた指導の充実、学校における教育活動の組織的な改善を行うことができる（指導と評価の一体化）。
- ・ 児童にとっては、自らの学習状況に気付き、その後の学習の改善に生かすことができる。
- ・ 保護者にとっては、児童に家庭における学習を促すことができる。

学習評価の方法

○ 学習評価の基本的な考え方

【学習指導を改善・充実するためのPDCA】

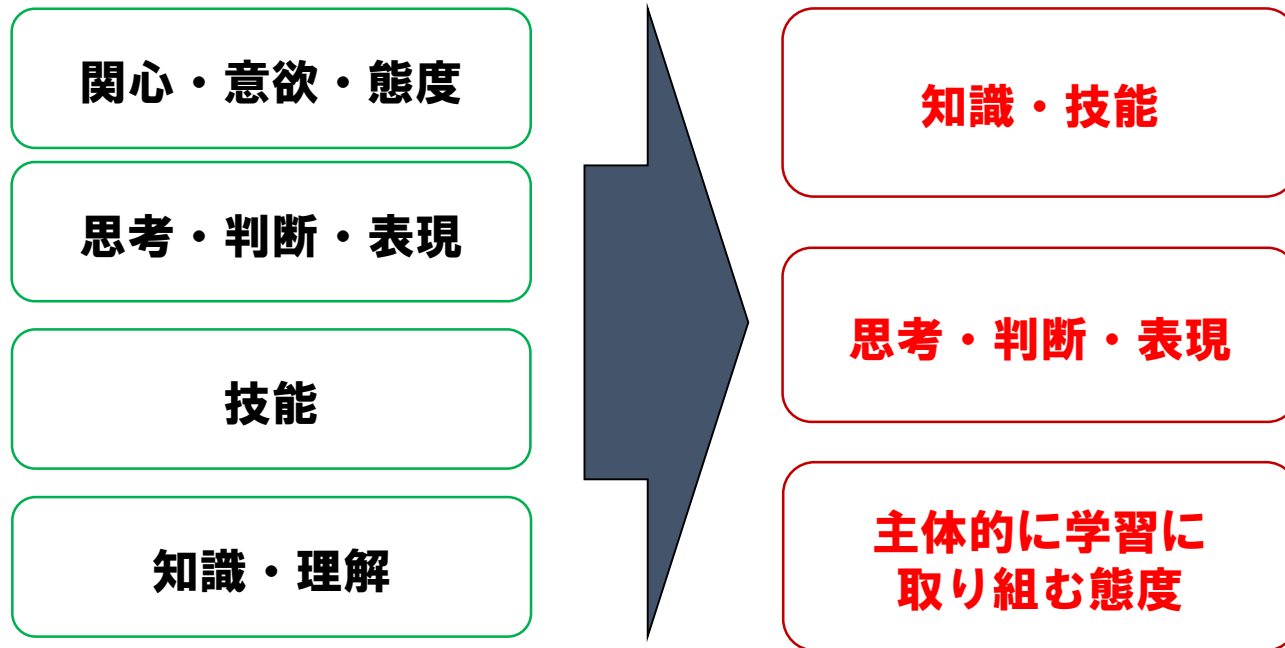


学習評価の方法

○ 学習評価の基本的な考え方

【観点別学習状況の評価の観点の整理】

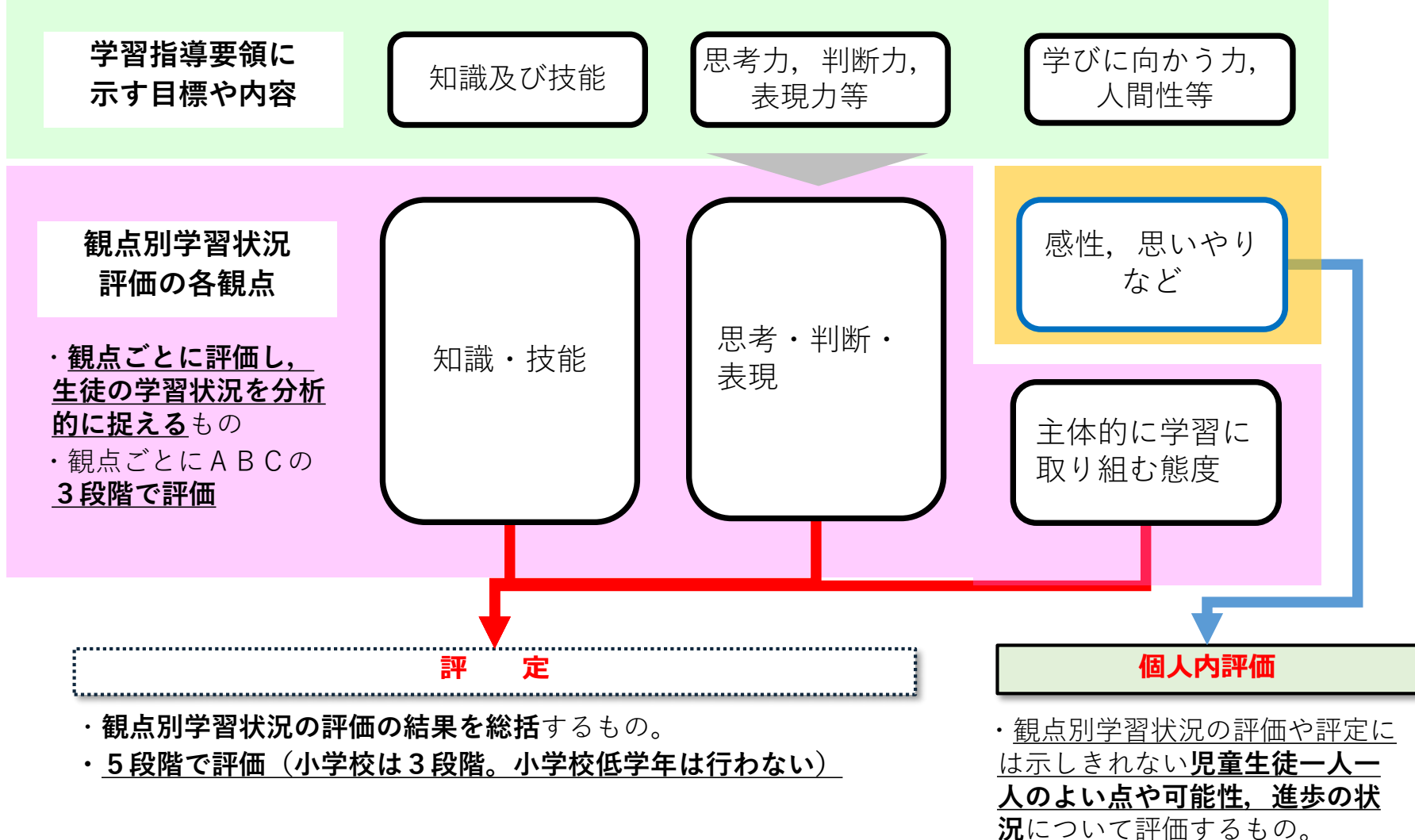
資質・能力の三つの柱に基づいた目標や内容の再整理を踏まえて、観点別学習状況の評価の観点については、小・中・高等学校の各教科等を通じて、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点到に整理。



学習評価の方法

○ 学習評価の基本的な考え方 【観点別学習状況の評価の在り方】

小学校は令和2年度から
中学校は令和3年度から全面实施



学習評価の方法

○ 学習評価の基本的な考え方

【「知識及び技能」の評価】

- 個別の知識及び技能の習得状況について評価する。
- それらを既有的の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしているかについて評価する。

<評価の工夫（例）>

- ペーパーテストにおいて、事実的な知識の習得を問う問題と、知識の概念的な理解を問う問題とのバランスに配慮する。
- 実際に知識や技能を用いる場面を設ける。
 - ・ 児童生徒に文章により説明をさせる。
 - ・ （各教科等の内容の特質に応じて）観察・実験をさせたり、式やグラフで表現させたりする。

学習評価の方法

○ 学習評価の基本的な考え方

【「思考力、判断力、表現力等」の評価】

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。

<評価の工夫（例）>

- 論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動を取り入れる。
- ポートフォリオを活用する。

学習評価の方法

○ 学習評価の基本的な考え方

【「学びに向かう力、人間性等」の評価】

「学びに向かう力、人間性等」には、㉞主体的に学習に取り組む態度として観点別学習状況の評価を通じて見取ることができる部分と、㉟観点別学習状況の評価や評定にはなじまない部分がある。

学びに向かう力、人間性等

観点別学習状況の評価にはなじまない部分
(感性、思いやり等)

㉟

個人内評価（児童生徒一人一人のよい点や可能性、進歩の状況について評価するもの）等を通じて見取る。

※ 特に「感性や思いやり」など児童生徒一人一人のよい点や可能性、進歩の状況などについては、積極的に評価し児童生徒に伝えることが重要。

「主体的に学習に取り組む態度」として観点別学習状況の評価を通じて見取ることができる部分

㉞

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしているかどうかを含めて評価する。

学習評価の方法

○ 学習評価の基本的な考え方

【評価規準】

- ・ 設定した目標について、児童がどのような学習状況として実現すればよいのか具体的に想定したもの
- ・ 観点ごとに設定し、「おおむね満足できる」状況を示したもの

学習評価の方法

○ 学習評価の基本的な考え方

【評価規準の設定例】

例：小学校第5学年算数B 図形（3）平面図形の面積）

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>単元の 評価規準</p>	<ul style="list-style-type: none"> 必要な部分の長さを用いることで、三角形、平行四辺形、台形の面積は計算によって求めることができることを理解している。 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を公式を用いて求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の求め方を、求積可能な図形の面積の求め方を基に考えている。 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現を見いだしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 求積可能な図形に帰着させて考えると面積を求めることができるといふよさに気づき、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を求めようとしている。 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高めようとしている。

学習評価の方法

○ 学習評価の基本的な考え方

【評価規準の設定例】

時間	目標	主な学習活動	評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	平行四辺形の面積の求め方を考えることができる。	平行四辺形の面積を、既習の長方形に帰着させて考える。		平行四辺形の面積の求め方を、既習の求積可能な図形の面積の求め方を基にして、等積変形したり分割したりするなどして 考えている。	

北海道立教育研究所「確かな学力の育成に資する学習指導に関する研究」を基に作成

学習評価の方法

○ 学習評価の基本的な考え方

【評価方法の工夫改善】

■ 様々な評価方法

- ・ 観察
 - ・ ノート
 - ・ 学習カード
 - ・ レポート
 - ・ 質問紙
 - ・ 児童との対話
 - ・ ワークシート
 - ・ 作品
 - ・ ペーパーテスト
 - ・ 面接
- 等

国立教育政策研究所「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料」を基に作成

学習評価の方法

○ 学習評価の基本的な考え方

【評価方法の工夫改善】

ペーパーテストは、評価方法の一つとして有効であるが、ペーパーテストにおいて得られる結果が、目標に準拠した評価における**学習状況の全てを表すものではない**ことについては、改めて認識する必要がある。

そこで、例えば、ワークシート等への記述内容は、「知識・技能」の評価だけでなく、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の評価にも活用することが可能であることから、児童生徒の資質や能力を**多面的に把握できるよう**工夫し、活用することが考えられる。

学習評価の方法

○ 学習評価の基本的な考え方

【障がいのある児童など特別な配慮を必要とする児童に係る学習評価】

障害のある児童生徒については、通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校において子供たちの十分な学びを確保し、一人一人の子供の障害の状態や発達の段階に応じた指導を一層充実させていく必要があるとされている。

また、知的障害者である児童生徒に対する教育課程については、児童生徒の一人一人の学習状況を多角的に評価するため、各教科の目標に準拠した評価による学習評価を導入し、学習評価を基に授業評価や指導評価を行い、教育課程編成の改善・充実に生かすことのできるP D C Aサイクルを確立することが必要であるとされている。

学習評価の方法

○ 学習評価の基本的な考え方

【障がいのある児童の学習評価の考え方】

学習評価に関する基本的な考え方は、障がいのある児童においても同様である。

障がいのある児童については、個々の児童の障がいの状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を行い、観点別学習状況を踏まえた評価を適切に行う。

【参考となるもの・活用できるもの】

- ◆ 小学校、中学校、高等学校の学習指導要領と解説における障害のある児童生徒への配慮事項
- ◆ 特別支援学校学習指導要領
- ◆ 特別支援学校小学部・中学部学習評価参考資料
- ◆ 特別支援学校のセンター的機能(特別支援学校による助言や援助) 等

学習評価の方法

○ 学習評価の基本的な考え方

【障がいのある児童の学習評価の考え方】

特別支援学校(知的障がい)各教科の評価

特別支援学校の学習指導要領においても、小・中・高等学校の各教科と同様に育成を目指す資質・能力の三つの柱で目標及び内容を整理



各教科の学習評価においては**観点別学習状況を踏まえた端的な文章記述**とする。

個別の指導計画と指導要録との関係の整理

通級による指導を受けている児童

- ・ 個別の指導計画を作成しており、通級による指導に関して記載すべき事項が当該
- ・ 指導計画に記載されている場合



個別の指導計画の写しを指導要録の様式に添付することをもって指導要録への記入に替えることも可能。

学習評価の方法

○ 学習評価の基本的な考え方 【特別支援学校（知的障がい）各教科の評価】

1-2. 特別支援学校（知的障害）小学部及び特別支援学校（知的障害）中学部における各教科の学習の記録

国語

(1) 評価の観点及びその趣旨

<小学部 国語>

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活に必要な国語について、その特質を理解し使っている。	「聞くこと・話すこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思い付いたり考えたりしながら、言葉で伝え合うよさを感知しようとしているとともに、言語感覚を養い、言葉をよりよく使おうとしている。

<中学部 国語>

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「聞くこと・話すこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをまとめたりしながら、言葉がもつよさに気付こうとしているとともに、言語感覚を養い、言葉をよりよく使おうとしている。

評価の3つの観点

1-5. 特別支援学校（知的障害）高等部における各学科に共通する各教科の学習の記録

教科	観 点	趣 旨
国語	知識・技能	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
	思考・判断・表現	「聞くこと・話すこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。
	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつよさを認識しようとしているとともに、言語感覚を養い、言葉をよりよく使おうとしている。

(例)小学部の参考様式の様式2(表面)

様式2(指導に関する記録)

児童氏名	学 校 名	区分	学年	1	2	3	4	5	6
		学 級							
		整理番号							

各教科・特別活動・自立活動の記録									
学年	1	2	3	4	5	6			
生活									
国語									
算数									
音楽									
図画工作									
体育									
特別活動									
自立活動									

観点別学習状況を踏まえた文章記述

教科等毎の記載枠を点線で区分

出典 「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録等の改善等について」

学習評価の方法

○ 学習評価の基本的な考え方

【指導と評価の一体化】

